

建設場所

7-1 建設候補地の検討

新花巻図書館整備基本構想において、建設場所に関する方針を次のとおりとしています。

新花巻図書館整備基本構想

3 新花巻図書館整備の方針

(3) 建設場所に関する方針

図書館は、市民をはじめとする利用者にとって、利用しやすい場所にあるべきであり、交通アクセスが良くわかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所が望ましいと考えます。

また、図書館は市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要があり、本市は、平成28年6月に市街地の定住化を促進し市街地に都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を策定し公表しましたが、新しい図書館はその中で示す「都市機能誘導区域」に整備することとし、場所によっては近隣施設との連携や他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数箇所選定した上で基本計画において場所を定めることとします。

また花巻市議会が、令和2年3月18日に議長を除く全議員で構成する新花巻図書館整備特別委員会を設置し、新花巻図書館整備について検討した結果として、令和2年12月17日付けで市議会議長から市長あてに次のとおり提言がありました。

花巻市議会 新花巻図書館整備特別委員会提言

① 建設場所について

新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針に基づき、都市機能誘導区域内へ整備することとし、市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと。なお、決定に当たってはその経過及び理由を明確に示し、市民の理解が得られるよう努めること。

② 建設用地について

建設用地は市有地とすること。借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用における権利関係の不安要素は避けるべきであること。

③ 複合施設について

図書館単独での整備を基本とすること。新花巻図書館整備基本構想に盛り込まれた市民のくつろぎと交流のスペースとして、飲食コーナーは図書館に必要な機能の一つとして位置づけ、整備を検討されたいこと。

この間、令和2年10月15日に開催した市議会議員説明会及び10月25日に開催した、としょかんワークショップ「みんなで話そう未来の図書館」5回目〈場所を考える〉において、新花巻図書館の建設候補地については、次の6カ所7案（表10）について提示し説明してきました。

表 10 建設候補地の概要

候補地	概要	
ア まなび学園周辺	① 花巻営林署跡地 A	営林署跡地（まなび学園体育館の南側駐車場）に建設する案
	② 花巻営林署跡地 B	営林署跡地（まなび学園体育館の南側駐車場）と、その南側の市道部分に建設する案。（市道は南に切り替えて整備）
	③ まなび学園前	まなび学園校舎の南側の芝生広場も含めた駐車場敷地に建設する案
	④ まなび学園体育館	まなび学園の体育会を撤去して、まなび学園南側駐車場（営林署跡地）も含めた敷地に建設する案
	⑤ 総合花巻病院跡地	総合花巻病院跡地に建設する案
イ 花巻駅周辺	① JR 花巻駅前（JR 用地）	花巻駅南側に隣接する JR 東日本が所有する敷地に建設する案
	② 花巻駅南駐車場（なはんプラザ東側）	花巻駅南駐車場第一駐車場（なはんプラザの東側駐車場）の敷地に建設する案

7-2 建設候補地の選定経過

新花巻図書館の整備に関しては、本計画の試案を検討する会議として、令和 3 年度に「新花巻図書館整備基本計画試案検討会議」を設置して、これまでに開催してきたワークショップや市民意見交換での意見や、各種団体、学校との意見交換会等での意見、また関係団体等からの要望を踏まえて市が作成した本計画の試案の内容について検討をしてきました。

令和 4 年度には、同試案検討会議において検討してきた図書館を建設する場所として、どの場所がどうか、前述の 6 カ所の候補地について検討をしてきましたが、総合花巻病院跡地と花巻駅前の JR 用地の 2 カ所についての意見が多く、同試案検討会議においては最終的に花巻駅前の JR 用地がいいとする意見が多くなったところです。

当該 JR 用地に図書館を建設するには、当該用地を JR 東日本から譲り受けなければならないため、これまで検討してきた新花巻図書館整備基本計画試案についての概要と、JR 東日本に土地譲渡の条件を協議することについて、令和 4 年 10 月に計 17 回（15 地域とオンライン 2 回）市民説明会を行いました。

たが、市民説明会では総合花巻病院跡地を建設場所に推す意見も多くあり、また、総合花巻病院跡地と花巻駅前の方の双方の建設候補地に建設した場合の事業費がわからないと比較できないとの意見もありました。

これを受けて、市では双方の候補地に建設した場合の事業費を調査し、双方に建設した場合のイメージパースを作成することについて、令和5年12月市議会の承認を得て予算化し業務委託を行い、令和6年10月には「新花巻図書館建設候補地比較調査業務委託報告書」として提出されました。

令和6年11月からは、比較調査の結果等を見ながら建設候補地について対話によってお互いの意見を共有し整理する市民会議を開催しました。同市民会議は、令和6年3月末現在の住民基本台帳より15歳以上の3,500人を無作為に抽出して案内を送付し、参加を希望した10代から80代の75名の方により実施したもので、慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚氏がメインファシリテーター（進行役）となり4回の会議を開催したものです。

市民会議では、参加者が市民の目線で2か所の図書館建設候補地について、メリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合い、どちらの候補地が望ましいか自由に意見を述べるなど対話を繰り返す中で、それぞれ個人の意見をまとめ、最終的にヒアリングシートに記載しました。

ヒアリングシートにおいて重要視された分類の上位5つは、1. アクセス、2. 活性化、3. 安全、4. 周辺環境、5. 駐車場の順であり、重要視された分類ごとに候補地の選択で最も多かったものの人数は、アクセス「明らかに駅前」42人、活性化「明らかに駅前」27人、安全「どちらかといえば駅前」25人、周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、駐車場「どちらかといえば病院」24人となっています。

以上から、重要視された5分類のうち4分類で駅前が評価されており、駐車場のみが病院跡地が評価されていることがわかりました。

これらの分類を重視する方の自由記述をAIによりまとめると、アクセスでは「駅前はバスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい」「高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である」。活性化では「新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる」「観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる」とまとめられています。同様にAIでまとめた安全は「駅前は交番が近く、明るく夜間も安心」「人通りが多い駅前の方が安全である」。周辺環境は「人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である」とされています。駐車場については、病院跡地を評価する意見がありました。

7-3 建設候補地の選定

新花巻図書館の建設候補地について、令和6年11月から令和7年2月にかけて開催した対話による市民会議に参加した皆さんからは、図書館建設の過程に参加できたこと、対話によって考えが深まったこと、また、どちらの候補地もメリットとデメリットがあり、どちらに決まったとしてもみんなが考えたデメリットの解決策を生かしてほしい、自分の考えとは違う場所に新しい図書館ができて納得はできる、など新しい図書館に対する期待の声や前向きな意見が多く寄せられました。

この市民会議においては、重要視された5分類のうち「活性化」「アクセス」については「明らかに駅前が良いと思う」、「安全」「周辺環境」については「どちらかといえば駅前が良いと思う」、と4分類において駅前の方が評価され、総合花巻病院跡地については、「駐車場」についてのみ「どちらかと

いば病院側が良いと思う」との評価であったことなど、駅前の方が評価されている結果を踏まえ、市としては「花巻駅前」を建設候補地とします。

その上で、駐車場について危惧をされる方も多かったことから、「花巻駅前」でも利用しやすい駐車場の確保に努めます。

「新花巻図書館建設候補地比較調査」（令和6年）の報告によると、新花巻図書館に必要な駐車台数の目安はおよそ120台とされています。

現在、JR花巻駅東口には花巻駅南第1駐車場60台、第2駐車場121台、合計181台の駐車スペースがありますが、「新花巻図書館建設候補地比較調査」によると、そのうち60台程度の空きが日常的に見られるとの調査結果がでています。

そのことを踏まえ、新花巻図書館の整備にあたっては、現在JR東日本所有地で図書館建物に隣接することとなる部分（下図参照）に、平面でおよそ38台の駐車場を整備することとします。また第2駐車場についてはJR線路に隣接する市道の一部を廃止し60台の駐車スペースを増設することにより、第2駐車場の駐車台数を合計181台（下図参照）に増やします。

その結果、市が整備する図書館建物隣接地の38台及び第2駐車場に増設する60台の駐車スペースに加え、現在日常的に空きが見られる第1駐車場及び第2駐車場の60台程度の駐車スペースを合わせると、新花巻図書館の利用者が日常的に利用できる駐車スペースは計158台となり、花巻図書館に必要な駐車台数の目安とされるおよそ120台以上の駐車スペースを確保できることとなります。

さらに、高齢者や障がい者、乳幼児連れの方々などが図書館に近い場所に駐車できるようにすることを目指し、図書館建物隣接地の駐車スペースについては、最大38台分をあらかじめ図書館利用者として登録した高齢者、障がい者、乳幼児連れの方々などが優先的に利用できるようにし、また、それ以外の方々についても利用の都度図書館駐車券を配布するなど、無料で駐車場を利用できるシステムを工夫し策定します。



図書館と芝生広場は、図書館本体を2階建てを想定した図面

また、市民会議で出された総合花巻病院跡地が良いとする意見では静かな環境などに関する意見もありました。新花巻図書館の整備にあたっては、そのような意見を踏まえ次のとおり整備を進めることを検討します。

電車の騒音や振動を懸念する意見については、駅や線路に近い他の図書館の事例も踏まえながら設計段階で対策を図るとともに、防音し静かに読書ができる部屋を設置します。

病院跡地に比べて敷地が狭く、イベントを開催できない等の意見については、図書館の建物を3階建てにすることも検討し、そのことによって芝生広場を広げることも検討します。その場合は、2階建てで建設した場合に必要なとされた、駅前多目的広場にある融雪設備の操作盤撤去は行わず、現状のまま維持する可能性があり、その場合は2階建てで建設する場合に比べて約6千万円削減できることとなります。

駅前には緑が少ないとの意見があることから、芝生等で屋上等を緑地として利用することも検討します。

花巻駅前でイベント等を開催する場合に、駐車場のフェンスを取り外し可能とするなど、イベントに対応できるようにすることも検討します。

周辺の施設との連携についての意見があることから、なはんプラザのコムズホールの活用も含めて、なはんプラザとの連携を検討します。

今後、本基本計画策定後に、新花巻図書館の設計等の予算について市議会の承認を得た場合は、新花巻図書館の設計等に入っていきますが、引き続き市民の声を聴く機会を設けるなど、市民の意見を反映させながら整備を進めたいと考えます。